

令和6年1月23日  
第10回高等学校教育の在り方  
ワーキンググループ  
資料 2

# 北海道大樹高等学校における スクール・ミッション、スクール・ポリシーについて

このまちの、すべてが教材です。



# 説明内容

- 0 本校の現状
- 1 スクール・ミッション、スクール・ポリシーの策定過程
- 2 教育活動における活用状況
- 3 今後の活用

# 0 本校の現状



職員定数

区分	人数と内訳
校長	1
教頭	1
教諭	12
教諭	8
再任用教諭	2
期限付き教諭	2
養護教諭	1
合計	15

大樹高校市町村別入学者数実績

町村名	区分	R3	R4	R5
大樹町	中学卒業数	37	44	44
	地元進学率	37.8%	34.1%	45.5%
	高校入学者	14	15	20
忠類地区	高校入学者	2	4	3
更別村		3	2	4
中札内村		3	4	5
広尾町		0	1	1
その他		0	1	0
大樹高校入学者計		<b>22</b> (現3学年)	<b>27</b> (現2学年)	<b>33</b> (現1学年)
クラス数	3年	1	1	1
	2年	1	1	1
	1年	1	1	1

# 説明内容

- 0 本校の現状
- 1 スクール・ミッション、スクール・ポリシーの策定過程
- 2 教育活動における活用状況
- 3 今後の活用

# 1 スクール・ミッション、スクールポリシーの策定過程

## (1) スクール・ミッション

- 令和2年12月 北海道教育庁からスクール・ミッションの再定義について説明
- 令和3年2月 大樹町学校運営協議会にて意見聴取
- 令和3年7月 スクール・ミッション作成
- 令和3年9月 設置者によるスクール・ミッション再定義

## (2) スクール・ポリシー

- 令和3年5月 令和2年度学校評価、大樹町学校運営協議会の意見を踏まえ、校長が原案作成
- 令和3年6月 大樹町学校運営協議会にて意見聴取
- 令和3年12月 職員会議で原案提示
- 令和4年2月 職員会議でスクール・ポリシー承認  
令和4年度に向けスクール・ポリシーを踏まえた教育計画案を作成

# 1 スクール・ミッション、スクールポリシーの策定過程

## 「スクール・ミッション」

- 1 地域との連携・協働等を通じて、地域の課題に向き合い、解決するために必要な資質・能力を身に付けた生徒の育成
- 2 伝統・文化を尊重しつつ、グローバルな視点や国際感覚をもって地域の課題解決を図ろうとする生徒の育成
- 3 自らの進路実現へ向けて主体的に学習し、異なる価値観や考え方を持つ他者とも協働しながら、社会へ参画していこうとする生徒の育成
- 4 インクルーシブ教育や探究学習を通じて、多様性を尊重し、豊かな心を持った、共生社会を担う人材となる生徒の育成

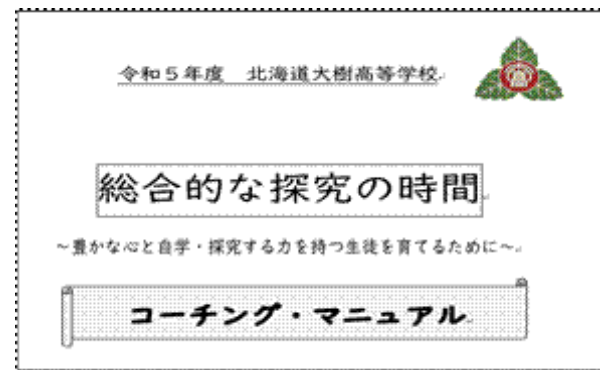
## 「スクール・ポリシー」

- 1 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）～何ができるようになるのか
  - (1) 自他を尊重する豊かな心を持ち、多様な人々が共に生きる共生社会を、支える人材となる生徒（共生）
  - (2) 自学と探究する力を持ち、主体的に地域共創へ参画し、新たな価値を創造していく生徒（共創）
- 2 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）～どのように学ぶのか
  - (1) 授業のユニバーサルデザイン化の深化を通じ、主体的に学ぶ姿勢の向上と個に応じた最適な学びの実現による基礎学力の定着に努める。（大樹スタンダードの確立）
  - (2) 教科横断と地域協働による課題解決型学習の改善・充実を通じ、思考力・判断力・表現力の伸長と自ら社会的課題の解決へ参画しようとする態度の育成に努める。（地域探究学習「大樹学」の推進）
- 3 入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）～何を学ぶのか
  - (1) 多様性や共生社会について興味・関心を持ち、様々な人々との協働をとおして、自他を尊重する豊かな心を身に付けようとする生徒（共生）
  - (2) ふるさとに愛着を持ち、本校の探究学習をとおして、主体的に地域の課題解決に取り組もうとする生徒（共創）

## 2 教育活動における活用状況

### (1) 校内での活用

- 令和4年2月 スクール・ポリシーに基づいた次年度の教育計画案の作成
  - ・「共生」「共創」に基づいた「総合的な探究の時間」の計画及びマニュアルの作成
  - ・「共生」「共創」に基づいた各教科の単元配列表の作成



テーマ	時期	国語	地歴・公民	数
共生社会	1年生	JICA エッセイ コンテスト (現代の国語)	音楽の歴史 (歴史総合)	
	2年生			
	3年生	JICA エッセイ コンテスト (現代文B)	社会倫理 (倫理)	
地域共創	1年生		地方政治 (公共)	
	2年生		地方政治 (政治・経済)	
	3年生		地方史 (日本史A)	

- 令和4年4月から 前年度の計画に基づき活動開始
  - ・毎朝の打合せ、定例職員会議における説明の繰り返し
  - ・毎日、生徒向け校長だよりを配付

## 2 教育活動における活用状況

### (1) 校内での活用

#### ○ 「総合的な探究の時間」の計画及びマニュアル(抜粋)

令和5年度 北海道大樹高等学校



#### 総合的な探究の時間

～豊かな心と自学・探究する力を持つ生徒を育てるために～

#### コーチング・マニュアル

#### 【コンテンツ】

- 本校の「総合的な探究の時間」とは
- 本校の「総合的な探究の時間」における学年別目標
- 本校の「総合的な探究の時間」における軸
- 「総合的な探究の時間」指導計画 単元配列表
- 「教科等横断型学習」 単元配列表
- 1学年「総合的な探究の時間」指導計画
- 2学年「総合的な探究の時間」指導計画
- 3学年「総合的な探究の時間（キャリア学習）」指導計画
- 3学年「総合的な探究の時間（地域探究活動）」指導計画





# 2 教育活動における活用状況

## (1) 校内での活用

### ○ 「総合的な探究の時間」の計画及びマニュアル(抜粋)

**本校の「総合的な探究の時間」とは**

現在、日本社会においては、急激な少子高齢化やグローバル化の進展、絶え間ない技術革新等により、急速に変化していきます。中でも、AI、ビッグデータ、IoT、ロボティクス等の先端技術が生活に入り込むスピードはまさに加速度的です。

この激動の社会を生き抜くために、重要なのが、適切な情報収集と取捨選択。そして、自らが求めた情報に向かって探究をして、行動に移すことができる力です。

そこで、本校の「総合的な探究の時間」では、次のような目標を立て、みなさんが3年後、10年後、20年後も「自分らしく輝ける」人生の一助になって欲しいと考えます。

小さなタネを大きな樹に育てるために・・・

自ら求めて学び  
たくましく生きて欲しい  
(先生方の想い)

予測不能な激動の社会

- 経済のボーダレス化
- グローバル化
- AI
- 少子高齢化
- IoT社会
- 不確実性な社会

#### 本校の目指す資質・能力

- 自他を尊重する豊かな心を持ち、多様な人々が共に生きる共生社会を支える人材となる生徒（共生）
- 自学と探究する力を持ち、主体的に地域共創へ参画し、新たな価値を

- 授業
- 学校生活
- 部活動
- 地域活動
- 家庭
- etc

#### 総合的な探究の時間の教育目標

1 個々の能力・才能を伸ばし自己実現を目指す

この授業の目標地点。達成のために、学年毎に段階を設け、卒業時に身に付けて欲しい3つの力

- 「理解する力」
- 「表現する力」
- 「共生・共創する力」

- 1年生：基礎・・・職業や自分自身について理解を深め、情報収集・情報発信の土台を身に付けます。
- 2年生：発展・・・見学旅行やワークショップを通して、見聞を広げ、自分の将来を具体的に考えます。
- 3年生：完成・・・自ら課題を設定して探究し、解決するために必要な資質・能力を身に付け、社会の一員としての自己実現を達成します。

これらを学年目標に据えて、授業を受けていきます。

# 2 教育活動における活用状況

## (1) 校内での活用

### ○ 各教科の単元配列表の作成(抜粋) ※月別

学年	月	国 語	地歴・公民	数 学	理 科	進路行事	総合的な探究の時間		探究の軸	LHR	学校行事	保健・体育	音 楽	英 語	家 庭	商業・情報	
							キャリア活動	探究活動									
1年 (基礎)	2~3		課題研究の方法論の学習	課題学習 (データの分析)	化学が拓く未来		進路活動体験講話 企業説明会				宿泊研修		オススメ曲の紹介 (プレゼン)				
	12~1					進路希望調査 基礎力診断テスト 冬期講習		インターンシップ 報告会			体育大会			ライティング力の構築	調理実習 食育講座 (グループ活動)	インターンシップ 報告会 発表資料作成	
	10~11	リテラス検定 に向けた学習		課題学習 (三角比)				インターンシップ	リテラス検定 IST・JAXA 講座	CST②	生徒総会 合唱祭		合唱祭に向けて		被服実習 ユニバーサル デザイン		
	8~9	読書感想文		課題学習 (2次開数)		基礎力診断テスト	学校説明会		防災教室		シェイクアウト		合唱祭に向けて	スピーチや会話 の基礎	介護に関する講話 SDGs学習		
	6~7					夏期講習	高校卒業後の進路			選択科目説明	学校祭						情報を伝える
	4~5	JICA エッセイコンテスト		課題学習 (数と式)	科学と人間生活 (プレゼン)	進路希望調査 基礎力診断テスト	自分の適性について 働くことについて			CST①	生徒総会 入学式	集団行動 安全確保		英語による 理解・表現の基礎	家族関係		情報で 問題解決を行う

共生社会・地域共創

# 2 教育活動における活用状況

## (1) 校内での活用

### ○ 各教科の単元配列表の作成(抜粋) ※テーマ別

テーマ	時 期	国 語	地歴・公民	数 学	理 科	保健・体育	音 楽	英 語	家 庭	商業・情報
共生社会	1年生	JICAエッセイ コンテスト (現代の国語)	音楽の歴史 (歴史総合)				音楽の歴史 (音楽Ⅰ)		日本食の紹介 (家庭基礎)	情報モラル (情報Ⅰ)
	2年生						クリスマスコンサート (音楽表現)		福祉施設訪問・交流 (生活と福祉)	
	3年生	JICAエッセイ コンテスト (現代文B)	社会倫理 (倫理)						日本食の紹介 (フードデザイン)	
地域共創	1年生		地方政治 (公共)						絵本読み聞かせ講座 (家庭基礎)	
	2年生		地方政治 (政治・経済)		地域の自然 (生物基礎)				ふまねっと交流 (生活と福祉)	
	3年生		地方史 (日本史A)						おやじの会との交流 給食メニュー考案 (保育・フード)	
SDGs	1年生	JICAエッセイ コンテスト (現代の国語)		国際情勢と統計 (数学Ⅰ)	環境の化学 (化学基礎)				目標5、他 (家庭基礎)	
	2年生				生態系・環境問題 (生物基礎)			グローバルな課題に ついて(英コミⅡ)	目標3、他 (生活と福祉)	
	3年生	JICAエッセイ コンテスト (現代文B)						グローバルな課題に ついて(英コミⅡ)	目標1、2、他 (保育・フード)	ビジネスとSDGs (課題研究)
ICTスキル	1年生			データの分析・2進数 (数学Ⅰ・数学A)	調べ学習・パワー作成 (化学基礎)				ポスターセッション (家庭基礎)	データの分析 (情報Ⅰ)
	2年生				調べ学習・パワー作成 (生物基礎)				ポスターセッション (生活と福祉)	文書作成・表計算 (情報処理)
	3年生								ポスターセッション (保育・フード)	
宇宙	1年生									
	2年生			大きな数字の扱い (数学Ⅱ)	波・エネルギー (物理基礎)					
	3年生				天体の運動 (物理)					
防災	1年生9月					心肺蘇生法講習 (体育・保健)			安全に暮らす (家庭基礎)	
	2年生9月		地震の仕組み (地理総合)	マブニチュード・対歌 (数学Ⅱ)	地震の仕組み (物理基礎)				災害に配慮した住生活 (生活と福祉)	
	3年生9月								防災食学習 (フードデザイン)	

# 2 教育活動における活用状況

## (2) 外部に向けた活用

- 令和4年6月 大樹町学校運営協議会で説明
  - 令和4年6月 大樹高等学校活性化推進協議会で説明
  - 令和5年4月 学校便り、地域探究科だより発行
- ・毎月の大樹町広報誌での配付、大樹中学校への配付

北海道大樹高等学校 学校便り 第14号 令和5年(2023年)9月28日



### 大樹高校便り

北海道大樹高等学校  
〒089-2155 広尾郡大樹町1番地 HPのQRコード→   
Tel.01558-6-2063、6-2868  
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

【令和5年度の指導上の重点目標】  
1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。  
2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

### 台湾見学旅行に向けて「たいわんDAY」を実施しました

2学年は、10月17日から台湾への見学旅行を予定しています。  
9月15日は、1時間目～6時間目を通じて、台湾に関する理解を深める授業をたくさん盛り込んだ「たいわんDAY」を実施しました。  
1・2時間目「地歴・公民×台湾」 3時間目「生物×台湾」



台湾の歴史や経済、地理・・・私達の行く場所は、どんな場所なのでしょう。最初の2時間は「土地を知る」ことからスタートしました。

台湾スイーツ「愛玉子」。どうしてゼリーのように固まるのか? 「固まる」を科学の視点で捉えることをテーマにグループワークと実験を行いました。

北海道大樹高等学校 普通科地域探究科通信 第7号 令和5年(2023年)7月26日



### 地域とともに

北海道大樹高等学校  
〒089-2155 広尾郡大樹町1番地 HPのQRコード→   
Tel.01558-6-2063、6-2868  
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

【令和5年度の指導上の重点目標】  
1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。  
2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

### 探究成果発表会を実施しました

7月19日(水) 10:05～11:50、本校体育館において、3年生が「総合的な探究の時間」で見たり聞いたりして調査した内容をもとに、自分の考えの変化や未来への提案などについて発表しました。

当日は、黒川町長、全ての大樹町議会議員、大樹町役場、大樹町教育委員、探究活動で協力いただいた企業、保護者の方々などにも来校いただき実施することができました。

高校生の目線から、各グループの調査や思考の変遷などが発表され、非常に面白い内容となりました。

来校の方々には、それぞれの発表について、よかったところや改善すべきことの記載に協力いただきました。

生徒は、それぞれのタブレットから、意見や感想を記入しました。

今回の取組は、10月に実施予定の大樹町議会と連携して実施する高校生議会につながる予定です。

発表者と発表内容	
1. スポーツで大樹町を発見させたい	発表者：青木 悠斗
若者が楽しめるスポーツ施設を作りたいという思いからスタート。活動を進めるうちに今あるスポーツ施設をもっと使ってほしいと思うように。みんなが楽しめるスポーツイベントの企画を検討しました。	
2. SNSで大樹町を発見させるには?	発表者：工藤 京輔・村木 隆
大樹町の観光PRをテーマに活動。他の市町村のSNS発信などの事例収集や、大樹町のおすすめスポットを調査。タクシーの運転手がおすすすめスポットなども聞き、おすすすめのドライブコースもまとめました。	
3. 大樹町の食を全国的に広める	発表者：上田 瑞穂・鎌田 心菜・松田 莉奈
大樹町の食、特に豚骨をテーマに魅力を伝えることをテーマに活動。実際に町内の牧場を訪れ、その牧場の食材を使った新商品の開発にチャレンジしました。	
4. 大樹町の特産品とは?	発表者：千葉 弥生・廣瀬 芹菜
大樹町の特産品を多くの人に知ってもらうことをテーマに活動。町内でアンケートをとり、大樹町といえばの特産品を調査。道の駅で知ってもらうためのPOP制作に取り組みました。	
5. 子どもたちの室内の遊び場	発表者：荒城 菜人・加藤 拓磨・杉村 柗太

## 2 教育活動における活用状況

### (1) 成果

- 生徒の地域や学校を支える姿勢の表出
  - ・探究学習発表会
  - ・大樹町高校生議会
  - ・小学校、中学校との連携事業



### (2) 課題

- スクール・ポリシーについての教職員の意識共有
  - ・各教科、分掌における「共生」「共創」を踏まえた取組
- 教職員の大樹高校の強みの継承
  - ・大樹スタンダード(授業改善の取組)
  - ・きめ細やかな生徒対応(教育相談、CST)
  - ・特別支援教育の取組
- 組織的な対応・継承(学年任せの状況)
  - ・管理職の適切なマネジメント

### 3 今後の活用

#### (1) 校内での活用

- **スクール・ポリシーの共有と見直しを毎年度実施する仕組みづくり**
  - ・大樹町学校運営協議会での意見聴取
  - ・アンケートを活用した教職員からの意見聴取
  - ・校長による、意見を踏まえたスクール・ポリシーの策定
  - ・分掌部長・主任との個別面談の繰り返しによる浸透

#### (2) 外部に向けた活用

- **令和6年4月 中学校訪問での説明**
- **令和6年5月 大樹高等学校活性化推進協議会で説明  
大樹町学校運営協議会での説明**
- **令和6年8月 オープンスクールにおける中学生への説明**